

患者が病気を理解するための情報提供 Information Support Tool for Patients

学籍番号：201121720

氏名：澤木恵

Megumi SAWAKI

【背景】患者家族と医療者とのコミュニケーションにおいて、患者家族が医学の専門用語を理解できないことが、医療者の話を理解する上での問題となっている。さらに、個人サイトやブログ、ソーシャルメディアにより提供されている情報を収集する患者が多いことも、問題の一つである。この問題を解決するために、本研究では、患者家族が病気を理解できるように支援することを目的とし、支援のための情報提供ツールを提案した。

【方法】専門用語と一般用語の対応関係を提供するために、医学書と医薬品添付文書を用いた調査を行った。医学書の調査には、医学専門書と一般向け医学書の目次と索引語を利用し、呼吸器疾患に関する専門用語と一般用語収集し、対応関係を明らかにした。医薬品添付文書を用いた調査では、薬効分類と各医薬品添付文書の効能・効果欄、副作用欄、重篤な副作用欄を利用して用語を収集し、対応関係を明らかにした。また、内容フィルタと情報源の所在を提供するために、医療機関や公的機関が作成・提供する信頼性があり入手可能な情報を調査した。収集した専門用語と一般用語、知りたい情報内容を指定する内容フィルタ、情報源の所在を用いて web ブラウザで使用可能な情報提供ツールを試作した。

【結果】医学書から抽出した索引語のうち、病名、検査、症状に関する索引語が多く抽出された。また、医療専門用語と一般用語を同表記の次に言い換えが多く、包含関係もあることがわかった。医薬品添付文書から抽出した用語では、医学書と比べて言い換えや包含関係も多く認められた。このため、患者家族への用語の支援の必要性が明らかになった。情報源の調査により、呼吸器疾患に関する情報源として提供されているものの内容が明らかになり、それをもとに内容フィルタを作成した。対応関係の認められた用語のリスト、内容フィルタ、各情報源の名称と所在情報からなる情報源リストの3つにより、情報提供ツールを設計し、試作を行った。

【結論】本研究による情報提供ツールを利用することにより、患者家族は用語に関する情報や、医療機関や公的機関によって提供されている情報、さらにそれらを検索するための手がかりを獲得することができる。これらの情報は、患者家族が病気を理解する手助けとなると考える。

研究指導教員：岩澤 まり子

副研究指導教員：芳鐘 冬樹